

# 令和7年度 日本学生支援機構【貸与奨学金】 「継続手続き」について

学生支援チーム奨学金担当

Tel : 059-231-9061 / E-mail : menjyosyogaku@ab.mie-u.ac.jp

1. 10月末現在で休学中・停止中の人を除き、貸与奨学生は**全員**手続きが必要です。**給付奨学金との併給調整により第一種奨学金の振込が「0円」となっている人も必ず手続きしてください。**  
4月以降の継続貸与を希望しない人は、継続願で「継続を希望しない」ことを入力してください。

## 2. 継続手続きの手順

### (1)「適格認定説明会」資料の確認

大学HPに掲載している説明会資料をよく読み、継続手続き・適格認定について理解してください。

### (2)「貸与額通知」の確認

- ・スカラネット・パーソナルへログインし、「貸与額通知」を印刷して、人的保証の方は連帯保証人・保証人にその内容を確認してもらってください。
- ・貸与奨学金は貸与終了後に日本学生支援機構へ返還する必要がありますので、将来、返還が困難になることのないよう、貸与月額が適切な金額であるかよく確認してください。
- ・スカラネット・パーソナルに**未登録**の人は、最初に新規登録をしてください。登録には、奨学生番号と振込口座番号が必要です。日本学生支援機構HP → **奨学金** → **スカラネット・パーソナル** をクリック。(直接URLを入力する場合は、<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>)

### (3)「継続願」の提出(入力)

- ① 大学HPに掲載の「貸与奨学金継続願」**準備用紙**を印刷し、内容を確認してください。準備用紙は学生支援チーム窓口でも配付しています。**大学学部用**と**大学院用**の二種類がありますので間違えないようにしてください。
- ② 準備用紙の3～6ページを記入してください。(本用紙2ページの「4. よくある質問」の内容に注意すること。また、本用紙3～4ページに**本人の収入及び支出 計算表**がありますので収入・支出の集計に利用してください。)
- ③ スカラネット・パーソナルに自分で登録したユーザID・パスワードを使用してログインします。
- ④ 「奨学金継続願提出」タブをクリックしてください。
- ⑤ 「貸与奨学生番号(6及び8で始まる番号)」を選択し、下書きどおりに入力してください。
- ⑥ 「送信」ボタンを押したあと画面に表示される受付番号(16桁)を準備用紙にメモしてください。

「継続願」  
入力期間

令和7年12月16日(火)8:00～ 令和8年**1月18日(日)**(厳守)

※一時保存機能はありませんので、必ず準備用紙を記入のうえ入力すること

## 3. 継続願入力における注意点

- ・スカラネット・パーソナルのログインにおいて、登録済みのユーザID・パスワードを忘れた場合  
再度登録してください。( **ログイン・新規登録** → **ユーザID・パスワードを忘れた場合** )  
「奨学生番号」欄は新規登録時に入力した番号を入力してください。複数の奨学生番号を持っており、送信後にエラーメッセージが表示される場合は、他の奨学生番号で試してみてください。なお、その奨学生番号が貸与終了済の場合、「口座番号」欄は振替口座(リレー口座)の番号を入力する必要があります。
- ・スカラネット・パーソナルの新規登録でエラーとなる場合  
「スカラネットPS確認情報入力」の画面の左下【確認情報入力の項目について不確かな場合はこちら】で確認してください。
- ・第一種奨学金と第二種奨学金を併用している場合  
奨学生番号ごとに継続願の提出(入力)が必要です。両方の継続を希望する場合には、必ず同じ内容を入力してください。
- ・入力終了後に内容を訂正したい場合  
スカラネット・パーソナルの「奨学金継続願提出」タブ→「貸与奨学生番号(訂正可)」をクリックし、訂正してください。訂正不可の場合は学生支援チーム奨学金担当窓口へ相談してください。

#### 4. よくある質問

##### Q1. 授業料は、1年でいくらでしたか？

- A. 年額 53 万円（博士後期 52 万円）です。  
授業料免除を受けている方は免除後の支払額（0, 26 万, 40 万円等）を記入します。

##### Q2. 経済状況(あなたの収入・支出)を入力にするに当たって、注意することは？

- A. ①収入欄「家庭からの給付（学部生）」・「父母等からの給付（大学院生）」には、仕送りの他に**父母等が負担している授業料・下宿代・電話代等**を収入として計上します。
- ②収入欄「日本学生支援機構の奨学金（自動表示）」の注意事項で、「自動表示に含まれていない」と記載されている奨学金（給付奨学金等）の金額は収入欄の「その他」に計上してください。
- ③支出欄「学費」には、授業料・実験実習費・保険料・留学費用等を計上し、**入学金は支出の「その他」欄に計上**します。
- ④支出欄「修学費」には、学費以外で学校生活に係る費用を計上し、通学費（定期代等）も含まれます。
- ⑤支出欄「通信費（家族と同居している場合）」・「光熱水料通信費（家族と同居していない場合）」に携帯電話代の計上を忘れないでください。**父母等が支払っていてもあなたの必要経費です。**
- ⑥金額については、**2024 年 12 月～2025 年 11 月の 1 年分**を記入します。  
(1 年生と今年度編入学生は 2025 年 4 月～11 月の 8 ヶ月分)
- ⑦最後に、収入と支出の差を必ず確認し、支出に比べて収入が一定額以上多いときは、貸与辞退や貸与月額の見直し（減額）等を含めて検討してください。

##### Q3. 「あなたの収入」で自動表示される「日本学生支援機構の奨学金」の金額修正はどうすればよい？

- A. ここには 2024 年 12 月から 2025 年 11 月までの振込額が自動表示されるため修正はできません。  
振込保留などの影響により、自動表示される額に 2024 年 11 月以前の金額も含まれ収支のバランスに影響が出る場合は、2024 年 11 月以前分として振り込まれた金額を支出の「その他」欄に計上することで差し引き、1 年分の奨学金金額として調整してください。

##### Q4. 継続貸与できるでしょうか？

- A. 大学において継続希望者の成績等を審査して、適格認定(継続・警告・停止・廃止の判断)を行い機構へ報告します。留年は「廃止」又は「停止」となります。修得単位数により修業年限での卒業が見込めないと判断される者も「廃止」となる場合があります。

##### Q5. 「継続を希望しません」を選択しました。その後の手続きはどうしたらいいですか？

- A. 5 月中旬頃に「貸与終了書類」を配付します。配付準備ができ次第、学生メールで連絡しますので、書類を受け取りに来てください。終了手続きの完了後に、**在学猶予願**を提出することにより、在学中の返還が猶予されます。

##### Q6. 「継続」判定なら 4 月 11 日に振込まれますよね。4 月 11 日に振込がなかったのですが。

- A. いいえ、**4 月の振込日は 21 日、5 月は 15 日**です。適格認定で「継続」と判定された方には、大学の奨学金担当や日本学生支援機構からの連絡はありません。4 月 21 日以降に振込口座通帳の記帳をして、継続となったことを確認してください。  
ただし、今回の**継続願入力期限（1 月 18 日）**後も未入力の人がいると、継続できる奨学生全員の 4 月分奨学金が 5 月 15 日まで振り込まれない可能性がありますので、期限までに入力をお願いします。

##### Q7. 返還誓約書情報(住所等)が変わりました。変更手続きは必要ですか？

- A. 本人の住所または電話番号に変更がある場合は、継続願提出時（スカラ PS の入力時）に「住所を変更する」ボタンから変更してください。  
本人以外の情報の変更については、スカラ PS では変更できませんので、奨学金窓口に申し出てください。  
ただし、**本人以外に関する「電話番号・携帯電話番号、連帯保証人・保証人の勤務先名称と勤務先電話番号」の変更は、貸与中の届け出は不要**です。貸与終了後に変更手続きを行ってください。

★継続願については、以下の日本学生支援機構ホームページ等も参照してください。



↑ 継続願の提出について



↑ よくある質問について



↑ スカラ PS ログインエラーについて  
(JASSO 公式 Youtube)



↑ スカラ PS ログイン方法  
(JASSO 公式 Youtube)

## 本人の収入及び支出 計算表

「奨学金継続願」準備用紙の4～5ページの注意事項等を参照し、下記の計算表で集計をしてください。

(三重大大学 HP に計算表のエクセルファイルを掲載しています。計算式が入っていますのでご活用ください。

「学部・自宅」「学部・自宅外」「大学院・自宅」「大学院・自宅外」別にシートがあります。)

三重大大学奨学金 HP <https://www.mie-u.ac.jp/life/support/syougaku/inuse-keizoku.html>

### 手順

- ① 収入と支出それぞれの項目に月額あるいは年額を記入します。支出では、**自宅通学**と**自宅外通学**で支出の種類が異なるため、表が別になっています。月額で記入したのものについては12ヶ月分をかけて年額を計算します。(1年生と今年度編入生については8ヶ月分をかけて年額としてください。)  
合計金額は1万円未満を切り捨て、種類毎に「万円」単位としてください。
- ② 「収入合計★」－「支出合計☆」を計算してください。**差額がマイナスになる場合、各項目の金額に間違いがないかをよく確認**してください。
- ③ 赤枠内の金額を準備用紙4～5ページの金額欄に転記してください。

月額×12(1年生は×8)      単位を「万円」に変換

あなたの**収入**

	月額 (単位:円)	年額 (単位:円)	年額 (単位:万円) 1万円未満切り捨て
家庭からの給付	円	円	万円
日本学生支援機構の奨学金 (スカラ PS では自動表示)	円	円	万円
日本学生支援機構以外 の奨学金	円	円	万円
アルバイト等収入	円	円	万円
その他	円	円	万円
<b>収入合計★</b>			万円

(大学院生は収入の種類の並び順が異なり、また「配偶者の定職収入」欄があるため、準備用紙へ書き写す時は注意してください)

月額×12(1年生は×8)      単位を「万円」に変換

あなたの**支出(自宅通学・父母と同居している)**

	費用項目	月額	年額	年額合計 (単位:円)	年額 (単位:万円) 1万円未満切り捨て
学費	授業料	授業料は年間 535,800円	円	円	万円
	その他		円		
修学費	教科書・図書費・文具購入費	円	円	円	万円
	実習旅行・ゼミ合宿	円	円		
	部活・サークル費用	円	円		
	通学費・定期代	円	円		
	駐輪場代	円	円		
食費	外食費	円	円	円	万円
通信費	携帯電話代等	円	円	円	万円
その他	1年生と今年度 編入生は入学料 282,000円	入学料	円	円	万円
		医療費	円		
		娯楽費	円		
		理容美容代	円		
		自動車学校講習費	円		
		その他講習費	円		
		その他支出	円		
機関保証料	スカラ PS では自動表示	円	円	円	万円
<b>支出合計☆</b>					万円

月額×12(1年生は×8) 単位を「万円」に変換

あなたの支出(自宅外通学・父母と同居していない)

	費用項目	月額	年額	年額合計 (単位:円)	年額(単位:万円) 1万円未満切り捨て
学費	授業料	授業料は年間 535,800円	円	円	万円
	その他		円		
修学費	教科書・図書費・文具購入費	円	円	円	万円
	実習旅行・ゼミ合宿	円	円		
	部活・サークル費用	円	円		
	通学費・定期代	円	円		
	駐輪場代	円	円		
家賃	家賃・共益費等	円	円	円	万円
食費	下宿等での食費・材料費	円	円	円	万円
	外食費	円	円		
光熱水料・ 通信費	電気代	円	円	円	万円
	ガス代	円	円		
	水道代	円	円		
	携帯電話代等	円	円		
	インターネット費用	円	円		
1年生と今年度 編入生は入学料 282,000円  その他	入学料		円	円	万円
	医療費	円	円		
	娯楽費	円	円		
	理容美容代	円	円		
	自動車学校講習費		円		
	その他講習費		円		
	帰省のための交通費	円	円		
	その他支出	円	円		
機関保証料	スカラ PS では自動表示	円	円	円	万円
支出合計☆					万円

「収入合計★」－「支出合計☆」＝ 万円

【計算例】(例: 大学3年下宿生 授業料は奨学金で支払い、家賃・光熱水料通信費は家庭支払い、仕送り月3万円)

あなたの収入

1) 家庭からの給付	108	家賃 48 万 光熱水料通信費 24 万 仕送り 3 万×12 月
2) 日本学生支援機構 奨学金	60	自動表示 (例) 月 5 万×12 月
3) 機構以外奨学金	0	
4) アルバイト等収入	30	月平均 2.5 万×12 月
5) その他	0	
収入合計	198	

この例の場合 収入 198 万円 - 支出 196 万円 = 差額 2 万円

あなたの支出

1) 学費	53	
2) 修学費	10	教科書代 2 万 ゼミ合宿 2 万 サークル活動費 0.5 万×12 月
3) 家賃	48	4 万×12 月
4) 食費	40	1 日 1,000 円×365 日+時々外食
5) 光熱水料 通信費	24	電気ガス水道合計 1 万×12 月 スマホ代 0.5 万×12 月 インターネット代 0.5 万×12 月
6) その他	21	娯楽費 1 万×12 月 理美容代 0.4 万× 5 回 医療費年 1 万 帰省 2 万×3 回
7) 機関保証料	0	自動表示
支出合計	196	

## 参考 スカラネット・パーソナル画面サンプル

スカラネットPS 奨学金貸与・給付・返還情報提供サービス

全体概要 詳細情報 各種手続 **奨学金継続願提出** 個人情報

ログイン後の画面

①または②の「奨学金継続願提出」のタブをクリックする

②

スカラネットPS 奨学金貸与・給付・返還情報提供サービス

全体概要 詳細情報 各種手続 **奨学金継続願提出** 個人情報

適格認定奨学金継続願提出

【適格認定奨学金継続願を提出されるかたへ】

この願出は次年度の奨学金の継続の意思を確認するための大切な願出です。必ず学校の定めた期間内に提出してください。提出がありませんと奨学生の資格を失うことになりますのでご注意ください。事実と異なる内容を入力し提出した場合は、奨学金が廃止されることがあります。

＜貸与型奨学生のかたへ＞

奨学金貸与終了後は、返還の義務が生じ、一定期間経過後に毎月決められた金額を返還していただくことになります。貸与月額と返還総額（予定）等を確認し、家庭の経済状況や、卒業後の生活設計を十分考慮のうえ提出してください。

なお、「貸与額通知」は、貸与額を確認するための通知です。貸与額を確認していただくため、必ず内容を印刷してご確認ください。

＜給付型奨学生のかたへ＞

給付型奨学金は、入学時や生活状況から、給付額が異なる場合があります。給付額が異なる場合は、給付額通知を確認してください。また、状況によっては受給資格がなくなる場合があります。

給付奨学金（新制度）の

・奨学生番号ボタンを押すと、各番号ごとの詳細情報画面が表示されます。

・複数の奨学生番号がある場合は、表示されていない奨学生番号がある場合や、不明な点は、学校に問い合わせください。

5XX04999999 「対象外」 給付額通知

6XX04999999 提出済（訂正不可）：継続希望 貸与額通知1

8XX04999999 貸与額通知2

・「貸与額通知」を印刷して確認する。

・奨学生番号をクリックして継続願を入力する。  
(第一種奨学金と第二種奨学金を併用貸与している場合は両方を入力する)